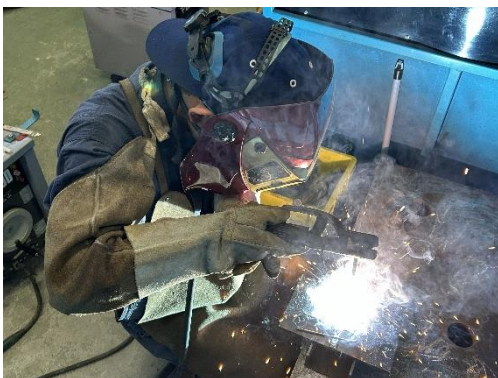


県工生 夏の大健闘！！

今夏、本校の生徒たちは日頃の学習や部活動で培った技術を発揮し、全国の舞台で素晴らしい成果を収めました。若年者ものづくり競技大会では出場した4職種すべてで入賞を果たし、全国選抜高校生溶接技術競技会（溶接甲子園）でも準優勝に輝きました。また、ケミカルサイエンス部が特許を取得しました。日々の努力と挑戦が実を結んだ、生徒たちの活躍を紹介します。

若年者ものづくり競技大会で4職種入賞！

7月29日から8月2日まで富山県富山市で開催された第21回若年者ものづくり競技大会に、本校から4職種に4名の生徒が出場しました。ソフトウェアアプリケーション開発で金賞（第1位）、フライス盤で銀賞（第2位）、機械製図（CAD）で銅賞（第3位）、ウェブデザインで敢闘賞を受賞し、出場した全種目で入賞するという快挙を達成しました。生徒たちは、授業で身に付けた知識や技術を生かし、情報研究部や機械技術部で日々練習に励んできました。こうした努力が実を結び、全国大会で素晴らしい成果を収めました。



溶接甲子園で準優勝！機械科3年生が快挙

7月31日、8月1日に愛媛県新居浜市で開催された「第10回全国選抜高校生溶接技術競技会（溶接甲子園）」において、本校機械科3年生の生徒が被覆アーク溶接部門で準優勝に輝きました。

この大会には全国9地区の代表20名が出場し、溶接の仕上がりや放射線透過試験、競技中の課題違反などをもとに技能を競いました。本生徒は、機械科の授業で学んだ技術を基礎に、「現代の名工」である遠藤保夫さんの指導を受けながら、機械技術部で放課後や休日にも練習に取り組んできました。日々の努力が実を結び、宮城県から初となる入賞という快挙につながりました。



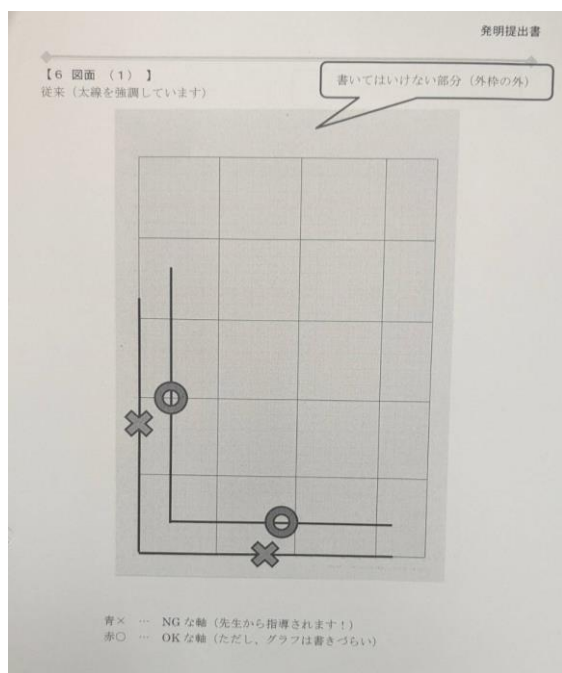
ケミカルサイエンス部、特許を取得！

ケミカルサイエンス部（化工班）の生徒2名が、グラフ用紙の取扱いに関する特許を取得しました。

数学や理科の授業で使うグラフ用紙は、端を原点として使えず、内側に縦軸と横軸を引く必要があるため、目盛りを書きにくいという課題がありました。この不便を解消したいという思いから、開発に取り組み始めたとのことです。

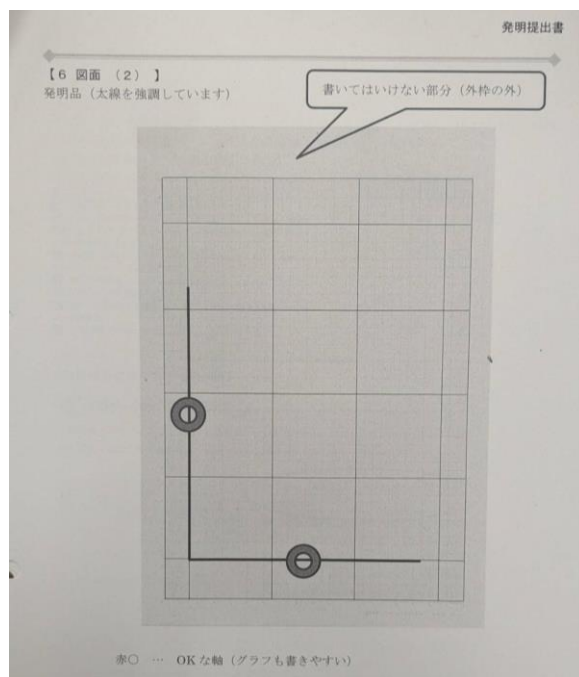
令和6年9月、卒業生3名とともにパテントコンテストに応募し、645件の応募の中から優秀賞を受賞。その後、弁理士の支援を受けながら特許申請を進め、さらにグラフ用紙の作成や書類の修正を何度も重ねました。コンテストの応募から2年以上を経て、改良したグラフ用紙が完成し、今年6月に公式サイトに掲載されました。

今までのグラフ用紙



端を原点として使うのはNG

開発したグラフ用紙



グラフの書きやすさ UP！